

●出題の意図

学校推薦型選抜（公募）Ⅰ期 1 日目

【一】本文は、テレビ番組を手がかりにした脳研究の歴史的背景・方法論の転換を追う科学エッセイ（脳科学・研究方法論）であった。

段落間の論理展開・指示語の指す内容・接続語の働きを把握できるかを問うとともに、議論が進む流れを、根拠を本文に求めつつ理解・選択できるかを試している。

【二】本文は、アイドル歌謡史を対談形式で語るポピュラー音楽批評文であった。

批評語の意味と用法を、文脈を踏まえて判断し、引用や比喩が指す実質を具体化できるかどうかを測ろうとしている。

いずれの大問においても、本文外の知識に依存せずに妥当な結論を導く精密な内容理解と論旨追跡力を評価する。総じて、情報を逐語的に拾うだけでなく、比喩・例示・対比などの機能を見抜き、概念を運用して読みを組み立てる「大学での学術読解」に直結する力を問う。

一般選抜（前期）1 日目

【一】本文は、人類の進化過程における「共感—音楽—言語」の関係を検討する科学エッセイであった。

社会脳仮説や認知革命の位置づけを踏まえつつ、段落間の論理展開・指示語の照応・接続語の機能を手がかりに、仮説提示→比較検討→再定義へ至る論の運びを本文の根拠で追えるかを問っている。

【二】本文は、「おにぎり／弁当」を素材に、日本の食文化と家族コミュニケーションの歴史的変容を論じる文化論であった。

概念や比喩の意味を文脈で見極め、具体例と総括の対応、段落内の情報の橋渡しの妥当性を判断できるかを測っている。

いずれの大問においても、複数仮説の対照と用語の再定義を読み解き、論旨を整理して構造的に把握することを求めている。背景知識に依存せず、本文内の根拠で判断を積み上げる精密な内容理解と、大学生にふさわしい思考力を評価の中心とする。